

fig.35

L

$d_{t+1} = r_{t+1} D_t + \sigma D_t \epsilon_{t+1}$
Luzerna atrii de Penoda

短期公社債組入個人向けリスク低減型【円建て】

ムーンライト・エイドスミニ・ファンド

追加型 / 国内 / 株式 / 特殊型

(愛称:スサノオ百)

これまで1,000万口からしかご購入いただけなかった
ムーンライト・エイドスファンドが100万口からに!
申込単位を小口化したミニの誕生です。

$(R_t) + \frac{dR_t}{R_t} (R_t - R_f)$

fig.07

f

Commodities are standardized
Luzerna atrii de Penoda

さらばタンス預金。

$X > i$

fig.12

【ご留意事項】

投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被ることがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。

投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は



商号:イニシア・スター証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第144号
加入協会:日本証券業協会、日本投資者保護基金、
社団法人 金融先物取引業協会

設定・運用



商号:ムーンライトキャピタル株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第466号
加入協会:社団法人 投資信託協会、
社団法人 日本証券投資顧問業協会

殖やすならエイドス

ムーンライト・エイドスミニ・ファンドとは

2009年12月24日(設定：2010年2月2日)より発売開始した次世代型投資信託ムーンライト・エイドスファンド(愛称：アマテラス)、待望の申込単位小口化です。

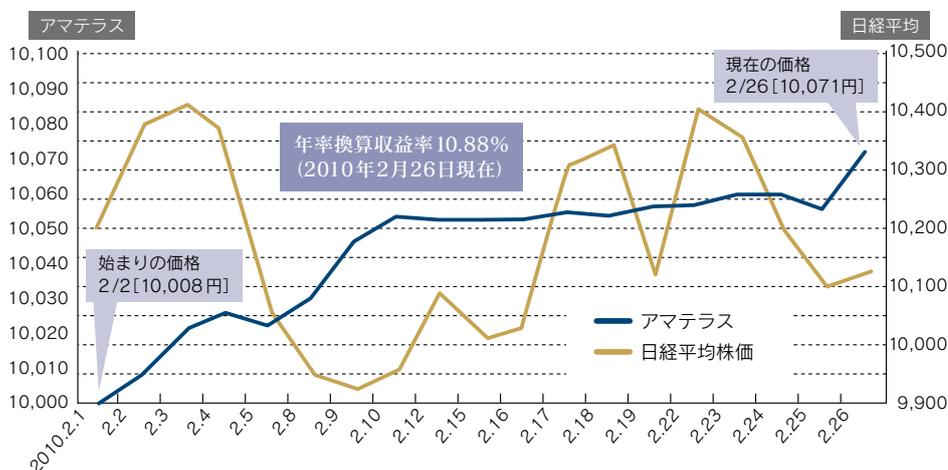
●ムーンライト・エイドスファンドの運用特徴

1. デイトレーディング運用
2. 安定運用
3. アルゴリズム運用
4. 円建て運用

運用方針の詳細は"ムーンライト・エイドスファンド説明用資料"をご覧ください。



1 ムーンライト・エイドスファンド「愛称：アマテラス」運用実績

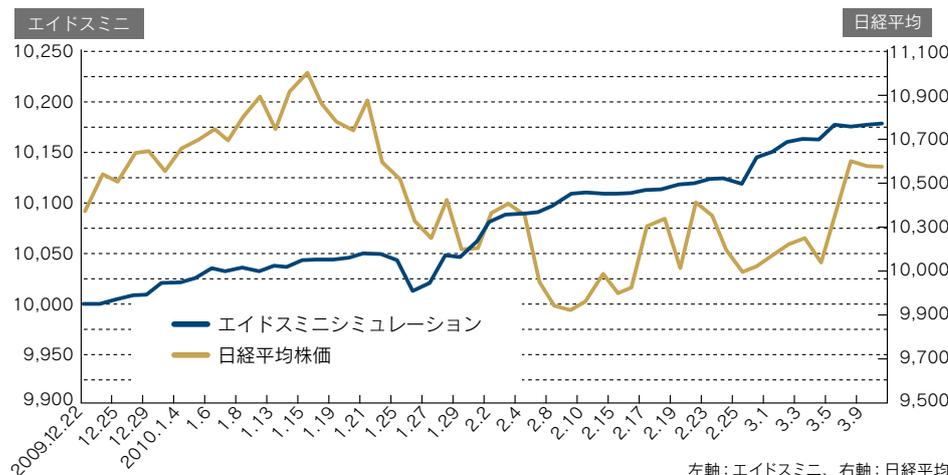


	ファンド	日経平均
年率換算収益率	10.88%	-10.72%
年率換算標準偏差	1.15%	27.51%
シャープレシオ	9.36	-0.39

※設定日からの日数が短いため、日次収益率から年率換算値を算出しております。シャープレシオは、リスクフリーレートを0.10%として算出しております。日経平均は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考値として掲載しております。
※このグラフは、他の金融商品との伸長率を比べるために作成したもので、同一価格をベースとした比較となっておりますのでご注意ください。

2 ムーンライト・エイドスミニ・ファンド「愛称：スサノオ百」のシミュレーションデータ

マザーファンドの運用実績からエイドスミニの基本手数料を控除したシミュレーションです。



減らさないをモットーに設定されたエイドスの運用方針は、過去のデータを元にシミュレーションしたムーンライト・エイドスミニ・ファンドの場合でも、安定性と収益性を十分に持ち合わせた商品となっております。

※エイドスミニの運用方針は基本的に「アマテラス」と同じですが、基本手数料等は異なります。また、このグラフはマザーファンドに基づくシミュレーションデータであり、将来の結果を保証するものではありません。
※このグラフは、当社が作成したグラフであり、発行時の諸条件によりシミュレーションしたものであり、将来の運用成果を保証もしくは示唆するものではありません。
※このグラフは、他の金融商品との伸長率を比べるために作成したもので、同一価格をベースとした比較となっておりますのでご注意ください。

3 シャープレシオの比較

●他の投資信託の場合

	投資信託A	投資信託B
シャープレシオ	1.33	0.09

●アマテラスの場合

	アマテラス
シャープレシオ	9.36

(注)

※比較した投資信託は、他社の日経225連動型および国際債券型の投資信託です。

～リスク低減型投資信託で安心資産運用～

(注)

シャープレシオとは？

リスク調整済みリターンを計測する手法のこと。ポートフォリオにおける超過リターンがポートフォリオのリスクに占める割合(比率)のこと。

主に、シャープレシオはポートフォリオが取っているリスクに見合うだけの収益をあげているかどうかをチェックするための指標であり、同じ運用利回りであってもシャープレシオが高いポートフォリオの方が、**比較的风险(収益のブレ)が少ない効率的な運用ができていると評価することができる。**

シャープレシオ



超過収益(過去の運用実績－無リスク資産の利回り)

ポートフォリオのリスク(標準偏差)

お客様にご負担いただく費用(当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

直接ご負担いただく費用	
申込手数料	原則、3.15%(税抜き3.00%)
換金手数料/信託財産留保額	ありません。
保有期間中に間接的にご負担いただく費用	
信託報酬	1.基本報酬と2.実績報酬の総額とします。
1.基本報酬	ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年1.5225%(税抜き年1.45%)の率を乗じて得た額とします。
2.実績報酬	基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、当該基準価額から当該ハイ・ウォーター・マークを控除して得た額に、21%(税抜き20%)の率を乗じて得た額が実績報酬として計上されます。実績報酬は1年毎に見直されます。
3.その他の費用	信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等。純資産総額に対して年率0.105%(税抜き0.10%)を上限とします。)、有価証券等の売買にかかる手数料等を当ファンドより間接的にご負担いただきます。 ^{※1} ※1. その他費用については、純資産総額や運用状況等により変動するものであり、事前に金額、上限額等を予め表示することができません。(投資対象ファンドについても同様。)

※お客様の負担となる費用等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。必ず、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込みメモ	
信託期間	原則、無期限(平成22年4月27日設定) ※ファンドの残存口数が3億口を下回った場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。
決算日	原則として、毎年3月15日(ただし、休業日の場合は翌営業日です。)
収益分配	年1回の毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。原則として、決算日から起算して5営業日までにお支払いします。
お買付単位	100万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
お買付価額	お申込受付日の基準価額(当初募集期間は、1口当たり1円とします。)
ご換金単位	1万口単位
ご換金価額	お申込受付日の基準価額
ご換金代金の支払日	原則として、ご換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社で支払います。
受付時間	お買付・ご換金のお申込み(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)の受付は、営業日の午後3時までとさせていただきます。この時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

当ファンドの主な投資リスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

- マザーファンド受益証券を通じて投資対象とする金融派生商品(デリバティブ)固有の要因や投資方針固有の事由により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- 公社債等を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割込むことがあります。

■ 株価変動リスク

株価変動リスクとは、株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受け下落するリスクをいいます。当ファンドは、マザーファンド受益証券を通じて、株価指数先物取引を積極的に活用しますので、株式市場の動きにより、当ファンドの基準価額は変動します。一般には、株式市場が下落した場合には、その影響を受け当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。また、株式の発行企業が、業績悪化、経営不振あるいは倒産等に陥った場合には、その企業の株式の価値が大きく減少すること、もしくはなくなることがあり、当ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。

■ 金利変動リスク

金利変動リスクとは、金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。また、金利水準の大きな変動は、株式市場に影響を及ぼす場合があり、債券市場のほかに株式市場を通じて当ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。

■ 信用リスク

信用リスクとは、当ファンドがマザーファンド受益証券を通じて投資する公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)をいいます。一般に債務不履行が発生した場合、または予想される場合には、公社債および短期金融商品の価格は下落します。また、発行体の格付けの変更に伴い価格が下落するリスクもあります。さらに、当該発行体が企業の場合には、その企業の株価が下落する要因となります。これらの影響を受け当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

■ 流動性リスク

流動性リスクとは、有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。当ファンドが直接もしくはマザーファンド受益証券を通じて売買しようとする有価証券等の市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合、希望する売買が希望する価格でできない可能性があります。特に流動性の低い有価証券等を売却する場合には、その影響を受け当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

< 当資料に関するご注意事項 >

- ・ 当資料は、イニシア・スター証券株式会社が作成した販売用資料です。投資信託の取得のお申込みを行う場合は、イニシア・スター証券株式会社などの販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご購入に当たっては、ご自身でご判断してください。
- ・ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・安全性を保証するものではありません。
- ・ この書面の情報の作成主体は、イニシア・スター証券株式会社であり、作成責任はイニシア・スター証券株式会社に帰属いたします。